

令和 7 年度 城東区関連予算（案）

1 城東区関連予算（総額）

（令和 6 年 12 月 2 日要求段階）

城東区関連予算	990,863 千円
区長自由経費 ※区長直轄事業	494,345 千円
区 CM 自由経費 ※区 CM（シティマネージャー）として局と連携する事業	496,518 千円

2 城東区予算編成にかかる考え方

城東区では、『城東区に住んでよかったと思えるまち』をめざし、城東区運営方針（案）に基づく経営課題 1～5 の取組を進めるとともに、令和 7 年度に重点的に取組む事業として 5 項目を定めて積極的に取組を進める。

【経営課題テーマ】

- 1 「人と人がつながり、城東区を誇りに思えるコミュニティ豊かなまちへ」
- 2 「地域で支え合う安全で安心なまちへ」
- 3 「安心して子育てができ、心豊かに力強く未来を切り拓く子どもを育むまちへ」
- 4 「地域が支えあい、住み慣れた場所で安心して暮らせるまちへ」
- 5 「区民の皆さんに信頼される区役所づくり」

【重点項目】

- 1 0 歳児家庭見守り支援事業
- 2 いじめ・不登校対策事業
- 3 住民票等発行手数料のキャッシュレス化・住民情報待合への行政キオスク端末導入による利便性向上事業
- 4 地域防災対策事業
- 5 万博に向けた機運醸成の取組み

3 重点的に取り組む事業

事業名		予算／千円	事業目的等
1	0歳児家庭見守り支援事業	16,650	初めての出産・育児を担う0歳児のいる家庭では、育児によるストレスや不安を誰にも話すことができず、独りで悩むことによって虐待に繋がるおそれがある。 そのような時にすぐに相談できる地域での場・時間などを情報として伝えていき、子育てを不安に感じることなく地域での見守りができるような支援づくりを実施する。
2	いじめ・不登校対策事業	15,215	いじめは、いじめを受ける子どもの人権が侵害され、尊厳が損なわれる重大な問題であり、いじめの側や観衆・傍観者を含め、子どもの健全な成長にとって看過できない悪影響を及ぼす深刻な問題である。 行政や学校にとって最も大切な責務は、「いじめを受けた子どもを救済し、その尊厳を回復していく」ために、いじめに苦しむ子どもやその保護者を支援することにある、これを実現していくには、学校においては、いじめ（あるいはいじめの可能性）に気づき、初期段階から適切な対応を行うとともに、区役所においても、いじめや不登校に関する啓発等を実施する。
3	住民票等発行手数料のキャッシュレス化・住民情報待合への行政キオスク端末導入による利便性向上事業	6,360	住民票等発行手数料のキャッシュレス化を推進することにより、様々な支払い手段を窓口においても選択できる環境を整え、市民の利便性向上を図る。 区役所待合に設置しているキオスク端末については、案内員による誘導を強制的に実施し、これまでコンビニ交付を利用したことのない市民に体感していただくことで、その利便性や簡便性を感じていただき、先々のコンビニでの証明書取得を大きく促進し、来庁者の減少・待ち時間の短縮化や待合の過密状態の解消などにつなげていく。
4	地域防災対策事業	16,152	防災サミットや防災アドバイザーによるワークショップ等を通じて、区民の防災意識を高め、地域防災リーダーの育成とあわせて地域で行われる防災訓練や防災計画・防災マップ作成を支援し、災害時避難行動要支援者も含めた自助・共助による自主防災力の向上を図り、災害に強いまちづくりをめざす。
5	万博に向けた機運醸成の取り組み	3,410	万博開催に向け課題となっている「テーマの認知度」や「万博への興味・関心度」の向上を目的として、市民参加型のイベント実施により、万博に対する期待度の向上・来場促進をめざす。